

# 日本レディースバドミントン連盟だより



Vol. 22

J.L.B.F.

## 主催 3 大会 概要



北海道大会



北海道大会

期 日 令和4年7月21日(木)～24日(日)  
 会 場 北海道立総合体育センター(北海きたえーる)  
 大阪市立浪速スポーツセンター  
 参加数 都道府県対抗 33チーム 357名  
 クラブ対抗 45チーム 486名



山梨大会



山梨大会

期 日 令和4年12月9日(金)～11日(日)  
 会 場 山梨県小瀬スポーツ公園・体育館 緑が丘スポーツ公園・体育館  
 甲府市総合市民会館・山の都アリーナ  
 大阪市立浪速スポーツセンター  
 参加数 391組 782名



国際親善大会



国際親善大会

期 日 令和4年10月19日(水)～23日(日)  
 会 場 エディオンアリーナ大阪(大阪府立体育会館)  
 大阪市立浪速スポーツセンター  
 参加数 171チーム 1,204名(海外参加1チーム、8名)

# 第40回全日本レディースバドミントン選手権大会(団体戦)

北海道レディースバドミントン連盟

理事長 日景 眞弓

期日 令和4年7月21日～24日  
会場 北海道立総合体育センター  
(北海きたえーる)



公益財団法人日本バドミントン協会創立75周年記念事業、第40回全日本レディースバドミントン選手権大会を令和4年7月21日～24日、北海道立総合体育センター(北海きたえーる)において開催いたしました。

7月に入り、再びコロナ感染が急拡大し大会開催ができるのかという不安を抱えながら大会当日を迎えることになりましたが、都道府県対抗33チーム、クラブ対抗45チーム総勢766名のたくさんの選手を北海道にお迎えすることができ安堵いたしました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により第38回群馬大会・第39回山形大会、2年連続中止での開催となりました本大会ですが、大会視察もできない厳しい状況の中での準備は大変な困難を極め、過

去の大会資料収集や大会主催経験者、日本レディースバドミントン連盟役員の方々からのご指導ご協力をいただき何度か壁にぶち当たり、例年にはなかったコロナ感染対策など試行錯誤しながら実行委員全員で慌ただしく準備を進めてまいりました。

いざ大会が始り、流れが滞った場面もありましたがその都度修正変更をしながら改善を図り、スタッフ一丸となり無事大会を終えることができました。

しかし、ほっとしたのも束の間、翌日からは全国各地からコロナ感染(陽性)の報告に追われ落ち着くまでに2週間ほどかかりましたが、幸い重症報告がなく安心いたしました。

また、北海道バドミントン協会をはじめ道内各地区バドミントン協会・各連盟から審判・運営のお手伝いのご支援ご協力、道内の多くの企業様からのご支援をいただき、大変感謝しております。

本大会開催に際しまして公益財団法人日本バドミントン協会、特別協賛をいただきましたヨネックス株式会社様をはじめご協賛くださいましたメーカー各社様には大変お世話になりました。厚く御礼

申し上げます。

最後になりましたが、日本レディースバドミントン連盟の役員の皆様には準備段階から大会終了後まで丁寧にご指導をいただき本当に感謝しております。ありがとうございました。

また、コロナ禍での大会に全国からたくさんの選手の皆様にご参加いただき心から感謝申し上げます。

本大会が今後益々ご発展されることを祈念いたしまして、ご報告とさせていただきます。



優勝カップ返還



試合風景



試合風景

クラブ対抗



★優勝★ 逗子なぎさ（神奈川県）

3年ぶりの全国大会。メダルのプレッシャーのかかる中、チーム一丸となって戦い抜きました。コロナにも負けずひたすら練習をしてきた成果が、優勝という結果に繋がりました！！



★準優勝★ あいCLUB（大阪府）

3年ぶりのコロナの中での開催、ありがとうございました。厳しい練習の中、決勝戦に立てた事が幸せに思います。また練習して頑張ります。目指せ日本一！！



★3位★ 岡崎フェニックス（愛知県）

コロナのなか大会が開催された事に感謝いたします。久しぶりの試合に『ちむどんどん』しながら戦っていました。一回戦突破の目標をクリアし、一つ一つ勝ち上がり『まさかや〜！』と言いながら準決勝！3位になれた喜びを持ち帰り、楽しんでバドミントンを楽しみます。



★3位★ 春円クラブ（奈良県）

このメンバーでの初めての全国大会。楽しく思い切り頑張りました。またこの場に立てる様に頑張りたいと思います。

都道府県対抗



★優勝★ 福岡県

コロナ禍のなか大会を開催して頂き、日レ・北海道レディースに本当に感謝です。大会中にフリーの成長にウルウルしながら勝ち進んでいきました。40代・50代が後押し、チーム一丸となってとれた優勝です。ありがとうございました。



★準優勝★ 熊本県

決勝戦を戦えて嬉しいです。支援して下さった皆様、頑張ってくれた選手の皆様に感謝します。コロナ禍の中、開催して下さった北海道の皆様にも感謝します。ありがとうございました。



★3位★ 千葉県

最終日のコートに立てた事を誇りに思います。クラブ対抗のみんなの応援にも力をもらい千葉県が一つになった事も自慢したいことです。北海道大会に参加する事が出来て、とても嬉しく思いました。



★3位★ 大阪府

3年ぶりとなる本大会を開催して頂き、日本レディース連盟・北海道レディース連盟・関係者の皆様に心より感謝申し上げます。来年はマスクのない笑顔で皆様にお会い出来る事を願い、また一から精進してまいります！

# YONEX Cup International Friendship Ladies Badminton Tournament 2022

Date : Wednesday Oct. 19 - Sunday Oct. 23 OSAKA, JAPAN

## ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2022



令和4年10月19日から23日までの5日間に亘り、エディオオンアリーナ大阪に於きまして標記大会を開催致しました。3年ぶりとなる今大会は、参加チーム171名、参加者1204名と小規模にはなりましたが、コロナ感染症の収束が見えない中、海外(香港)を含む各地よりご参加いただいたことは大変有り難く心より感謝申し上げます。

Aゾーンでは高校生を含む若い選手の参加がありスピード感溢れるプレーで会場を沸かせてくれました。その中でもレディース連盟の代表であるレディースジャパンの活躍は嬉しいことでした。レベルの高いこのゾーンに怯むことなくチャレンジしてくれたことは同会員として励みになりました。また年齢別で戦うBゾーンからKゾーンでは再会を喜び元気にプレーする姿が印象的でした。10代から80代までの選手が集う光景は未来への希望と生涯スポーツの実践を感じるものとなりました。

大会のサブアクションとしてオリピック金メダリスト高橋礼華さんによる講習会を行いました。メダリストのオーラと力強いストロークに引き付けられ有意義な時間となりました。会場入口エントランスは恒例となった大阪レディースによるカフェに加え、日替わりのキッチンカーを迎え試合の合間のひと時を楽しんでいただきました。

社会貢献活動としては、ピンクリボン活動、被災地支援の岩手県物産展、BADMINTON 4 TOMORROWの活動に賛同しラケット寄付の呼び掛けなどを行いました。バドミントンを楽しむ幸せを広く社会に還元したいと考え、これからもサブアクションとして様々な活動を続けて参ります。

最後になりましたが開催にあたり、冠協賛のヨネックスジャパンをはじめ各企業の皆様、公益財団法人日本バドミントン協会、日本レディース連盟の役員の皆様にご尽力いただきましたこと、ここに厚くお礼を申し上げます。

選手の皆様におかれましては来年も笑顔でお会い出来ますことを楽しみにしております。



香港チーム



試合風景



YONEXチーム



集合写真

大阪府レディースバドミントン連盟

理事長 竹田 由美子



Eゾーン優勝 沙羅クラブ (奈良県)



Fゾーン優勝 あい&あい C (兵庫県)



Gゾーン優勝 ふくみみ (福岡県)



Hゾーン優勝 オールド (大阪府)



Jゾーン優勝 きらり東京 (東京都)



Kゾーン優勝 フラワーズ (東京都)



Aゾーン優勝 大阪バドミントンカレッジ (大阪府)



Aゾーン準優勝 YAMATO奈良 (奈良県)



Aゾーン第3位 京都府学生選抜 (京都府)



Bゾーン優勝 OSAKA (大阪府)



Cゾーン優勝 KAU CHUN BC (HKG)



Dゾーン優勝 東大阪M. B. C. A (大阪府)

## ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2022



Ladies Japan メンバー

メンバー紹介 (写真左から選手名、都道府県)  
 後列：勝間香菜恵 (京都府)、岸上 紗帆 (京都府)  
 川端 葵衣 (福井県)、香山百合子監督 (岡山県)  
 前列：宮本 愛梨 (福井県)、森田 ゆみ (福井県)、  
 岡本英里香 (福井県)

### 監督 香山 百合子

今年のレディースジャパンは、国際親善レディースバドミントン大会2022に出場予定だった選手達でチームを編成し大会に挑みました。コロナで大会が開催されず2年間待っての大会に選手たちは本当に頑張ってくれました。1ペアが負けても残りの2ペアで取り返すといったようにチームワーク抜群で可愛くて、強くて、頼もしい選手達で予選リーグを突破し決勝トーナメントでも頑張ってくれました。バドミントンが出来る喜び、大会が無事開催されたこと、選手たちと楽しいひと時を過ごせたことに感謝しています。レディースジャパンの皆さん、ありがとうございました。今後のご活躍を期待しています。



試合風景



集合写真

### Ladies Japan コメント 選手代表 森田ゆみ

本大会3年ぶりの開催という事でしたが、Ladies Japanのメンバーとして出場させて頂けた事、大変嬉しく思います。新型コロナウイルスの影響もあり、海外選手との対戦は出来ませんでした。国内の実業団チームや社会人チーム、学生選抜チームなど素晴らしい選手が揃う中で一緒に戦えた事を誇りに思います。普段の練習や試合では出来ない貴重な経験をさせて頂き、日本レディースバドミントン連盟の皆様をはじめ、関係者の方々、そしてLadies Japanのメンバーに感謝の気持ちで一杯です。

また、本大会に出場させて頂いた事を恥じぬよう、日々精進いたします。  
 ありがとうございました。



試合風景



試合風景



アリサヨネヤマ氏と役員



カフェOLA



レセプション



講習会



カフェOLA

# 第17回全日本レディースバドミントン大会（個人戦）

## 山梨県レディースバドミントン連盟

### 理事長 永田 克美



山梨県レディースバドミントン連盟では、令和4年12月9日（金）から11日（日）の3日間に亘り、山梨県小瀬スポーツ公園体育館、山梨県緑が丘スポーツ公園体育館、甲府市総合市民会館山の都アリーナの3会場に於いて、全国37都道府県から782名にのぼる選手の皆様をお迎えし、標記大会を開催することができ、大会期間中における大きな事故やアクシデントも無く、何とか無事に終えることが出来ましたことに今は安堵しております。例えば全日本大会開催のお話を戴いた時から、全国で最も少人数の本県レディース連盟が、経験したことのない大きな大会の運営が果たして出来るのだろうか、世界的に大流行している新型コロナウイルスの蔓延下でちゃんとした「感染症対策」が本当に施せるのだろうかなど様々な「不安」や「焦り」がつつり、開催日が迫るたびその重圧に押しつぶされそうな日々をおくっていました。しかし弱音ばかり吐いていても大会は待ってくれません。ここは「山梨県レディースの総力」を見せなければの心意気に切り替え、まずは「先人に学べ」の教えに従い、香川県、北海道の大会を視察させていただいたところ、両連盟の皆さんは、この厳しいコロナ禍にも拘らず効率の良い大会運営にもちろんのこと徹底した感染症対策等にも心掛けられるなど、素晴らしい大会運営をされており、私達にとりましては、非常に参考となるもので、何よりも「勇氣」と「可能性」を頂いた素晴らしい視察が出来ました。その後、私達は、本大会に向け、6月

に「甲斐路オープン大会」を新たに開催し、運営要領の習得や審判技能の向上を図る取組を行うとともに、出場選手の皆様に喜んでいただける大会とするには、どのような取組みやおもてなしが出来るかなど、日々意見交換をして準備を進め、「結束」を高めてまいりました。もちろんレディース連盟のみの力量だけでは到底、開催することは出来ません。山梨県バドミントン協会、社会人連盟、山中高体連盟、の甲府市バドミントン協会、県内高校バドミントン部員の皆さんに支えられた「オール山梨」のご協力が必要でした。また、関東レディース連盟の皆様は審判員の派遣を快く引き受けていただき、試合にも多くの選手の皆さんに出場いただきまして感謝の思いで一杯です。大会が終わり参加者の皆様から「スタッフの皆さんの対応早くて助かりました。」「いい大会でしたね」と声を掛けていただき、とても嬉しく涙が出る思いでした。また、開催に際しましては公益財団法人日本バドミントン協会、特別協賛のミズノ株式会社をはじめ協賛各社、ご後援いただいた関係各位の皆様には大変お世話になりました。厚くお礼を申し上げます。そして、最後に日本レディース連盟の役員の皆様には、大会開催前から終了後まで多岐にわたる熱いご指導及び多大なるご支援を賜り誠にありがとうございました。全国から参加してくださった選手の皆様にも心より感謝申し上げます。皆様、本当にありがとうございました。

## 1部入賞者



**優勝**：岸上 紗帆・勝間香菜恵（京都府）  
 まずは、大会を開催して頂きありがとうございます。  
 二連覇が出来て、とても嬉しいです。  
 来年は三連覇に向けてこれからも頑張ります。

**準優勝**：宮本 愛梨・西江 彩花（福井県）  
**3位**：澤内あゆみ・西浦 京香（千葉県）

## 2部Aブロック 入賞者



**優勝**：田中琴裕幸・河村 美咲（山口県）  
**準優勝**：金子 涼子・板垣 成美（千葉県）  
**3位**：北條ともみ・長原 里美（神奈川県）



試合風景



会場風景

期日  
会場

令和4年12月9日～11日  
 山梨県小瀬スポーツ公園・体育館  
 山梨県緑が丘スポーツ公園・体育館  
 甲府市総合市民会館・山の都アリーナ



2部入賞者



Bブロック

優勝:辻 陽子・高島 康子(京都府)  
準優勝:大和田 結・島津 恵美(埼玉県)  
3位:石原 美里・中山 祐美(静岡県)



Cブロック

優勝:藤田 容子・島田三貴子(香川県)  
準優勝:関根 尚子・神 真紀(千葉県)  
3位:松山 裕子・白石久美子(福岡県)



Dブロック

優勝:葛西 深雪・高木 圭子(岐阜県)  
準優勝:安田 泰代・大平由理子(香川県)  
3位:海津 景子・田中 香織(新潟県)



Eブロック

優勝:畑末絵理香・稲田 百合(兵庫県)  
準優勝:小沼 尚子・高科 庸子(神奈川県)  
3位:福原志津子・宮川 洋子(岐阜県)



Fブロック

優勝:竹田由美子・磯山 浩美(大阪府)  
準優勝:岡田 忍・慶秀 清子(福井県)  
3位:宮本 智子・三井 栄子(静岡県)



Gブロック

優勝:千葉 昌恵・石原美香子(東京都)  
準優勝:山本 晴世・小林 朋子(静岡県)  
3位:大東恵里子・高垣 尚美(兵庫県)



Hブロック

優勝:福田 典子・堀江 圭子(栃木県)  
準優勝:保田真由美・森田須賀子(大阪府)  
3位:藤本 雅子・野崎 智厚(東京都)



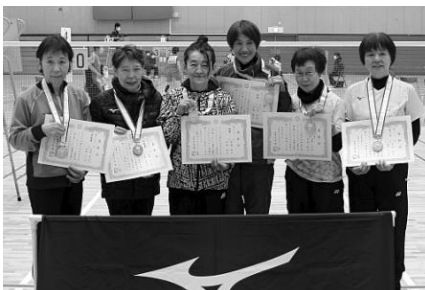
Jブロック

優勝:上田佳代子・菊池 葉子(東京都)  
準優勝:堂山貴美子・川谷 明子(福岡県)  
3位:久保知佳子・平川はるみ(千葉県)



Kブロック

優勝:米澤千江美・伊嶋 恵子(千葉県)  
準優勝:津田 純子・井戸 洋子(神奈川県)  
3位:新田 豊子・竹林佐代子(香川県)



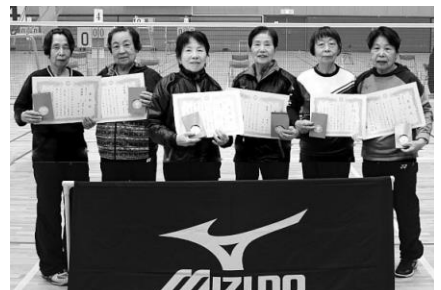
Lブロック

優勝:河野 昌子・真鍋 絹子(千葉県)  
準優勝:田倉テイ子・宮崎美江子(東京都)  
3位:直井むつ子・寺本 秋子(東京都)



Mブロック

優勝:土庵 清子・石井 伸子(静岡県)  
準優勝:宮本 容子・米口 順子(東京都)  
3位:佐藤マツノ・大庭 弘子(神奈川県)



Nブロック

優勝:兼田 公子・高澤 節巳(大阪府)  
準優勝:遠藤夫美子・村田 勝子(静岡県)  
3位:小川 末子・一木 房枝(福岡県)

日本レディース連盟大会日程表

第41回 全日本レディースバドミントン選手権大会 (都道府県対抗・クラブ対抗)	
期 日	令和5年 7月27日(木)～30日(日)
会 場	長崎県立総合体育館・諫早市中央体育館
監督会議	7月27日(木) 15:00～
開 会 式	7月27日(木) 16:00～
競 技	7月28日(金) 9:00～ 7月29日(土) 9:00～ 7月30日(日) 9:00～
閉 会 式	7月30日(日) 競技終了後

第18回 全日本レディースバドミントン競技大会 (個人戦)	
期 日	令和5年 11月23日(木祝)～26日(日)
会 場	武蔵野の森 総合スポーツプラザ
代表者会議	11月23日(木祝) 16:00～
開 会 式	11月23日(木祝) 17:00～
競 技	11月24日(金) 9:30～ 11月25日(土) 9:00～ 11月26日(日) 9:00～
閉 会 式	11月26日(日) 競技終了後

ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2023	
期 日	令和5年 10月18日(水)～22日(日)
会 場	大阪府立体育会館・大阪市立浪速スポーツセンター
代表者会議	10月18日(水) 16:30～
開 会 式	10月18日(水) 17:10～
競 技	10月19日(木) 9:20～ 10月20日(金) 9:20～ 10月21日(土) 9:20～ 10月22日(日) 9:20～
閉 会 式	10月22日(日) 競技終了後

第3回 日レ塾 フレンドリーバドミントン大会	
期 日	令和5年 9月9日(土)～10日(日)
会 場	名古屋市稲永スポーツセンター
開 会 式	9月9日(土) 9:30～
競 技	9月9日(土) 9:50～ 9月10日(日) 9:00～

オープン大会日程表

開催日	大会名	開催地	会 場
5月27日(土)	第20回 ふじやまオープン レディースバドミントン大会(個人戦)	静岡県	富士宮市民体育館
5月31日(水) 6月1日(木)	第30回 福島オープン レディースバドミントン大会(個人戦)	福島県	福島トヨタクラウンアリーナ (旧福島市国体記念体育館)
6月3日(土)	第1回 甲斐路オープン大会(個人戦)	山梨県	緑が丘スポーツ公園体育館(大体育館)
6月8日(木)	第21回 北海道よさこいそ〜らん オープンバドミントン大会(個人戦)	北海道	北海道立総合体育センター(サブ)
6月15日(木)～17日(土)	第50回 京都オープン レディースバドミントン大会(団体戦)	京都府	島津アリーナ京都
6月18日(日)	第19回 福井県レディース オープンバドミントン大会(個人戦)	福井県	敦賀市総合運動公園体育館
9月9日(土)	第7回 わかバドオープン(個人戦)	和歌山県	和歌山市立河南総合体育館
9月17日(日)	第16回 やまびこレディースオープン大会(個人戦)	長野県	ユメックスアリーナ 塩尻市総合体育館
9月18日(月祝)	第35回 輝レディース オープン大会(団体戦)	山口県	維新大晃アリーナ
9月22日(金)・23日(土祝)	第36回 奈良オープン レディースバドミントン大会(団体戦)	奈良県	ロートアリーナ奈良
■月■日(■)	第38回 広島レディース オープンバドミントン大会(個人戦)	広島県	広島サンプラザ
10月5日(木)・6日(金)	第18回 マザーレイク フェスティバルバドミントン大会(団体戦)	滋賀県	草津YMITアリーナ
11月3日(金祝)	第14回 よさこいレディース オープンバドミントン大会(団体戦)	高知県	くろしおアリーナ
11月11日(土)・12日(日)	第8回 清流の国ぎふレディース バドミントンオープン大会(団体戦)	岐阜県	OKB岐阜清流アリーナ
11月17日(金)	第33回 茨城県レディース バドミントン連盟ひばりの会(団体戦)	茨城県	ひたちなか市 総合運動公園体育館
12月14日(木)～16日(土)	第18回 兵庫オープンレディースバドミントン大会 すみれオープン(団体戦)	兵庫県	宝塚市立総合体育館
令和6年			
1月22日(月)・23日(火) 29日(月)～31日(水)	第15回 愛知オープン レディースバドミントン大会(団体戦)	愛知県	日本ガイシスポーツプラザ
2月10日(土)・11日(日)	第10回 和歌山オープン レディースバドミントン大会(団体戦)	和歌山県	和歌山県立体育館
2月20日(火)・21日(水)	第28回 千葉・菜の花オープン大会	千葉県	船橋アリーナ
2月17日(土)	第3回 OGU cup 京都府レディースバドミントン 年齢別オープン大会2023(個人戦)	京都府	島津アリーナ京都
2月22日(木)	第50回 長崎県レディース バドミントンオープン大会(団体戦)	長崎県	長崎県立総合体育館
3月10日(日)	2023 徳島県レディース 阿波踊りオープンバドミントン大会(団体戦)	徳島県	アミノバリューホール(鳴門市)
	湯けむりレディースバドミントンオープン大会 べっふアリーナ改修工事のため開催休止	大分県	
	大江戸オープン大会 全日本個人戦主管のため開催休止	東京都	



北海道ブロック 理事  
北海道 川島 満

昨年、北海道札幌市において開催された『第40回全日本レディースバドミントン選手権大会』には、全国各地から選手・役員の方々に参加いただきありがとうございました。

今シーズンの北海道は、10年に一度の最強寒波襲来で最高気温がマイナス10度、ドカ雪にホワイトアウト、公共交通機関の相次ぐ運休等記録的な厳しい冬となりました。

北海道ブロックでは、第51回北海道レディース競技大会がコロナ感染拡大の影響で3年続いての中止となりましたが、第20回よさこいそらんオープン大会が開催され参加者数はコロナ以前には戻っていないものの、道外からも参加をいただき熱気あふれるプレーに活気のある大会となりました。

今年には交流会講習会の回数増やレベルに合わせたレッスン等創意工夫を加え開催をします。また、生涯スポーツとして捉え初めてトリプルスを導入するなど課題であります会員の増加につなげられるよう取り組んでいきたいと考えております。

6月8日(木)に北海道立総合体育センターにおいて第21回よさこいそらんオープン大会が開催されます。

選手の皆様が安心して参加いただける大会になるよう管理運営に努めてまいりますので、多くの皆様の参加を心よりお待ちしております。

東北ブロック 評議員  
岩手県 谷藤さなえ

東北ブロックでは令和4年11月〜6日に第29回東北地区レディースバドミントン大会が岩手県盛岡市の岩手県営体育館他で行われました。コロナ感染拡大のため大会中止が続き3年ぶりの開催となりました。参加は3部が6チーム、1部2部は8チームのところ2チーム少ない6チームでした。結果は、1部じよいふる(岩手県) 2部W H I P (宮城県) 3部福島(福島県) がそれぞれ優勝しました。

岩手県としては7年ぶりの東北大会で、開催に向けてコロナ関係も含めいろいろと大会準備を進めてきました。大変だったのは会議等の会場確保が難しかったことです。監督会議は前日に行うことができたが開会式は十分な広さの会場が取れなかったため競技当日の朝に体育館で行いました。

参加された皆様にはご不便をおかけしたこともあったと思いますが、選手の皆様が真剣にシャトルを追いプレーを楽しんでいる姿を見るとこの大会が開催できて本当に良かったと思えました。

今後のコロナ終息を祈念しつつ、令和5年度に青森県で第30回東北大会が開催されますことを楽しみにしています。

関東ブロック 評議員  
神奈川県 渋谷 月江

関東ブロックでは年3回の役員会と1都7県代表クラブ24チームによる春季大会(未経験者)と秋季大会(経験者含)のクラブ対抗団体戦を持ち回りで行っています。令和4年度はコロナ禍を乗り越えて、神奈川県の小田原アリーナで開催しました。コロナ対策をしながら春季は無観客で、秋季は出

場クラブから10名以内の応援の来場を認めるという制約を設けましたが、喜ばしいことに若い選手の活躍が目立つ見ごたえのある素晴らしい大会となりました。3年振りの開催で準備段階から失敗や苦勞もありましたが、ブロック役員のご協力のもと、なんとか無事に終了する事ができ感謝しております。

また、第17回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)が12月9日〜11日に山梨県甲府市の3会場で開催されました。391ペアと参加人数も多く、ブロックで運営のバックアップをして盛会となりました。令和5年度は東京での記念開催となり、会場はオリンピックや世界選手権が行われた武蔵野の森総合スポーツプラザです。たくさんの参加者が集うのを心待ちにしております。今後もブロックで協力しながら、会員の親睦やレベルアップに取り組みしていきたいと思っております。

北信越ブロック 評議員  
長野県 丸山美代子

第38回北信越レディースクラブ対抗バドミントン大会が3年ぶりに長野県で開催されました。

善光寺の御開帳と重なり、賑わう長野市ホワイトリングでの開催です。コロナにより福井県での開催が2年見送られて、本当に楽しみでもあり心配でもありました。

北信越ブロック会議の中で全国大会の都道府県対抗で同じブロックでは対戦することが無いので北信越対抗をやつたらどうか?という意見が出て2年が経過しました。ようやくその提案を実行することができました。どの県も選手を決めるのに大変だったとか、コロナで登録が減ってしまったなど:そんな中でも、選手は200名ほどの参加でしたが、終わってみれば久しぶりに

楽しかった、友達に会えたなど、うれしい声も聞かれました。コロナで大変ではありますが、レディース登録を増やして北信越大会の継続が出来たら幸いと思えます。

東海ブロック 理事  
愛知県 柿澤 和美

令和4年度、東海ブロックはコロナ禍ではありましたが、静岡県にて5月に東海大会団体戦と総会、11月には東海大会個人戦と理事長会を開催しました。大会は無観客ではありましたが、参加者は皆、試合のできる喜びをかみしめてプレーしていました。

理事長会では東海大会の要項の確認をしました。また、今後の東海大会をどう考え、どう交流を深めていくか意見交換をしました。また次年度も話し合いをして協力しながら、より良いブロック活動に取り組みしていきます。

北海道で開催された第40回全日本レディース選手権大会・クラブ対抗の部で東海ブロックは愛知県岡崎フェニックスが3位となりました。全国大会に向けて頑張つて練習した結果が出ました。

又、山梨県で開催された第17回全日本レディース大会個人戦では、岐阜県、静岡県は好成績をおさめました。

来年に向けて東海ブロックが良い成績をおさめられるよう役員、選手一丸となっていきたいです。

9月に第3回目レ塾 全日本フレンドリーバドミントン大会が愛知県名古屋市中で行われます。

近畿ブロック 評議員  
滋賀県 友永 恵子

令和3年度より滋賀県の理事長に就任しました友永です。宜しくお願ひします。

近畿ブロックの活動は、2年間、新型コロナウイルス感染症の影響により会議や大会のほとんどが活動できない状況が続きましたが、令和4年度は、総会と年4回の理事会、2つの大会と親睦大会を行うことが出来ました。総会や理事会では情報交換や交流を図っております。大会については、感染対策を徹底しながら、6月には令和4年度近畿レディースバドミントン競技大会と3月には第45回近畿レディースバドミントン選手権大会が大阪府で開催されました。各大会とも2府4県の代表28チームが日頃の成果を発揮し、優勝を目指して熱戦が繰り広げられました。1月には第32回近畿シニアレディースバドミントン親睦大会が和歌山県で開催されました。連盟主催となり初めての開催で、参加者が50歳以上で行う大会で交流を深めました。

この大会の中で75歳以上で10回出場された方の表彰が行われ記念品が贈られました。また、ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2022をはじめ各府県のオープン大会も開催され、近畿圏以外の方にもたくさんご参加頂くことが出来ました。そしてたくさんの方の笑顔を見ることが出来ました。

本年度も引き続き、皆さんとの交流を深め、各大会が開催されますように「近畿は一つ」のスローガンの下、頑張つて行きたいと思えます。

**中国ブロック 理事**  
山口県 山中佐知子

中国ブロックでは、令和4年5月、鳥取県米子市で3年ぶりに中国地区レディースバドミントン選手権大会、年齢別対抗・クラブ対抗を開催する事が出来ました。コロナ禍、県を超えての開催には参加者も心なしか少なかったが、それでも、コートの中

では従来と変わらない白熱した試合で活気あふれていました。

11月には中国地区親睦大会と理事長会を鳥根県で開催しました。各県40代から70代以上まで3名チーム編成で総勢105名の県対抗戦や交流親睦試合は、開催できなかった時を超え、シャトルを追う者同士、声掛け合い、笑顔いっぱい親睦会となりました。

同時に開かれた理事長会では、令和5年度中国地区レディースバドミントン選手権大会が40周年記念大会となるにあたり、新たに8部70歳以上の部を加えることになりました。今後の会員登録減少の回避や、中国地区ブロックの魅力ある事業継承についても忌憚のない意見を出し合い5県一丸となつて協力していくことも共有し、前向きな会となりました。

私たちはコロナ感染拡大防止という過去に経験したことのない規制の掛かった生活を余儀なくされました。その経験で仲間とバドミントンが出来る環境や、大会が開催できる事の幸せを実感することが出来ました。今後も自分たちの目の前を大切に、皆で協力しこの幸せを守っていけるもの願っています。

**四国ブロック 評議員**  
愛媛県 日下 光子

令和3年度から愛媛県の理事長を務めさせていただいてる日下光子です。まだまだ分からない事ばかりで、周りの皆様に助けていただきながら一生懸命努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

令和4年度の四国ブロックの活動は、5月8日に徳島県のアミノバリエーションホールで第38回四国レディースバドミントン大会を開催いたしました。香川県2チーム、徳島県7チーム、高知県1チーム、愛媛県5チ

ム計15チームの参加で行われました。まだまだ新型コロナウイルスの感染が続くなか、参加チームも以前より少数ではありましたが無事に開催され、試合ができるという喜びを感じる事ができました。

11月には、香川県で四国理事会を開催し、3月には、徳島県で四国総会を開催して日本レディースバドミントン連盟からの報告や四国各県の現状報告等の意見交換を行いました。

少しづつではありますが、各大会も開催されるようになり、新型コロナウイルス蔓延以前に戻りつつあると感じております。四国で開催されていますオープン大会にも観光を兼ねて、是非お越しください。

これからも、四国4県が協力して選手のレベルアップや親睦に繋がる活動に取り組んでいきたいと思えます。

**九州ブロック 評議員**  
沖縄県 湧川 リエ子

世界中がコロナに翻弄された3年間でした。私たち九州ブロックも例外ではありませんでした。毎年熱戦が繰り広げられていました各県持ち回りの全九州レディースバドミントン競技大会が中止になりました。

令和2年度の第42回佐賀大会、令和3年度の第43回鹿児島大会、そして令和4年度の第44回沖縄大会と3年連続で中止を余儀なくされました。本当に残念で仕方ありませんでした。それに伴い九州沖縄8県の情報交換の場でもありました、年一度の総会も開催できない状況が続きました。

しかし令和5年度、コロナ禍を乗り越えて2月6日に総会が開催実現いたします。九州各県の皆様とお会いし、交流が深まることを楽しみにしております。

そして、令和5年10月開催予定の全九州福岡大会と各県で予定されています大会が、

スムーズに開催されますことを心より祈念致します。



会議風景

**編集後記**

1年間の活動報告として連盟だよりにまとめました。データ編集・写真選別・原稿校正など、作成にあたりご協力頂きました皆様ありがとうございました。多くの方に連盟だよりV.O.I.22をご覧頂ければ幸いです。

(総務部) 綾野 志穂

**発行**  
日本レディースバドミントン連盟  
京都府京都市南区東九条下殿田町七〇  
京都府スポーツセンター内  
TEL 〇七五・六九二・三三三八三  
FAX 〇七五・六九二・三三三八三

**責任者** 小国久美  
**編集** 総務本部